

TUSA®

TC1

DIVE COMPUTER

TUSA TC1 (IQ1301) ダイビングコンピュータ 取扱説明書【第3版】

●本製品は欧州における EMC 指令（2014/30/EU）および RoHS 指令（2011/65/EU）に準拠しています。

IN-TC1-JP-3th ●

この度は、TUSA TC1(IQ1301)をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。当製品をご使用になる前に、必ずこの説明書を読み、取扱方法と危険、警告及び注意事項を完全に理解するようにしてください。また、ご不明な点がある場合には、お買い上げの販売店か、株式会社タバタ TUSA お客様相談室 TEL.0120-989-023 までお問い合わせください。万一、間違った使い方をした場合には、重大な事故につながる可能性がありますので、十分留意してください。取扱説明書は製品の一部です。必ずいつでも取り出して読める場所に保管し、忘れたり、分からないことが生じた場合には、何度でも読み返すように心がけてください。もし、他の人に当製品を貸し出すような場合には、必ずこの取扱説明書を添付してください。また、初めてこの TUSA TC1(IQ1301) を海洋で使用するには、事前にプール等の安全な環境下で使用して、操作方法を習熟するようにしてください。記載の製品イラストの中には、視認性を考慮して、実際の製品形状と異なる描写を行っているものがあります。

また、TUSA TC1(IQ1301)をご購入いただきましたお客様にはユーザー登録をお願いしております。TC1 Quick Start Guide の QR コードから URL にアクセスしてユーザー登録を入力くださいますようお願いいたします。お客様からお預かりした個人情報、当社からの製品安全情報のご案内に利用させていただきます。

安全のために



- 当製品を使用してスクーバダイビングを行うにあたっては、国際的に認知されている潜水指導団体の学科講習及び実技講習を必ず受けてください。安全性の見地から、各団体の発行するCカード（講習修了認定証）を取得していない方の当製品の使用を禁止します。但し、各指導団体のインストラクター監督下における講習中の使用は、この限りではありません。（日本スクーバ協会共通掲載危険事項）

- スクーバダイビングを行う際には必ずバディシステムを守ってください。単独潜水は、重大な事故につながる可能性がありますが大変危険です。（日本スクーバ協会共通掲載危険事項）

- 減圧潜水に切り替わった場合は、減圧症の危険性が多分にあるダイビングを行ったということになりますので、このような表示が絶対に出ることのないよう、全てのダイバーは心がけてダイビングを行ってください。過度なダイビングは、重大な事故につながる可能性があります。また、万一、この表示が出た場合には、必ず次のダイビングを中止して、体調の変化に留意してください。めまい、頭痛、皮膚のかゆみ、筋肉痛、手足のしびれなど、減圧症に似た症状が見られる場合には、可能であれば現場ですぐに酸素を吸引して、再圧施設があるなど、減圧症治療のできる病院で診察を受けてください。

- 当製品は、あくまでもレジャーダイバー用に設計されたダイブコンピュータです。職業ダイバーは常に減圧症の危険に身をさらすため、そのようなダイビング計画自体をお勧めすることはできません。

- 当製品は作動中（体内窒素が残っている場合）に、他人に貸借したり、共有したりしては絶対にいけません。使用者以外には単一潜水または反復潜水を通して、その情報は役に立ちません。また、ダイビング中に当製品を陸上、船上、水面上に置き忘れた場合には、その後の反復潜水には不正確な情報しかもたらしません。以上のような場合には、減圧症にかかる危険性を多分に招きます。

- ナイトロックス・ダイビングの知識がない方、また、潜水指導団体による専門トレーニングを受けていない方は、ナイトロックスでは絶対に使用しないでください。

- ダイビングを行う際は、酸素濃度の比率をダイビングごとに必ず設定・確認してください。タンクエアアの酸素濃度の比率設定値と当製品の比率設定値が異なると、減圧症発症の可能性や酸素中毒発症の可能性が高まる場合があります非常に危険です。



- スクーバダイビングは、必ず良好な健康状態で行ってください。少しでも、寒を感じたり、疲れていたり、気分が悪かったりする場合には、絶対に無理を避け、ダイビングを中止してください。（日本スクーバ協会共通掲載警告事項）

- スクーバダイビングを行う前には、アルコール類の摂取はもちろんのこと、薬品類（特に鼻薬やかぜ薬など）の服用も避け、体調の悪い方や持病のある方は必ず事前に医師の診断を受けてください。（日本スクーバ協会共通掲載警告事項）

- 使用前には必ず各部を点検し、異音、表示異常、各ベルトの緩み、破損等の異常がある場合や、少しでも疑いがある場合には絶対に使用せず、すみやかに販売店にて点検・修理を行ってください。

- ご使用前に必ず十分に充電を行ってください。十分に充電されていない場合、使用中に電源が消える場合があります。

- ご自分では絶対に分解しないでください。また、規格外のパーツを取り付けたり、勝手に改造を加えることもおやめください。水没、故障の原因となり、重大な事故を招く危険性があります。



- 本製品はダイブコンピュータであって、ISO6425 及び JISB7023 で定められている潜水用時計（100m）に準拠するものではありません。

- 炎天下の社内、ボードデッキ上など、極端に恒温になる場所での放置は絶対に避けてください。不注意によって放置した場合、各センサーの計測制度が落ちたり、故障したりすることがあります。

- 色移りのご注意してください。ホワイトなどライトカラーの生地部分に、水着などの色物が長時間接触すると色移りが発生することがありますのでご注意ください。

- 本体およびベルトの金属部分は、汚れから錆びが発生し、衣服の袖口を汚すことがありますので、常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後、放置しておくとも錆びやすくなります

- 本体およびベルトは、直接肌に接触していますので、使用状態によっては、かぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・樹脂に対するアレルギー

- ② 製品の本体およびベルトの汚れ・さび・汗など

- ③ 体調不良など

- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

- 思わぬ怪我やアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は本製品を外すなど充分にご注意ください。

- 幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、本製品を外すなど充分にご注意ください。

- TUSA TC1(IQ1301)の概算メモリー容量は、約 900 ダイブです。

(*毎回潜水時間が約 40~50 分で計算されます。実際の潜水時間により異なります。)

メモリーがフル容量に達すると SCUBA モード、FREEDIVING モードと GAUGE モードを使用できません。

900 ダイブを超えるとログが記録できないため、スクーバヒストリーの DIVES（潜水回数）：800（ダイブ）または TIME（積算潜水時間）：32,000（分）を超えましたらご購入店へログクリアにお出ください。

ログクリアを行うとこれまでの全てのログデータとヒストリーデータが削除されます。

《充電方法》

- TUSA TC1(IQ1301)を充電するには、まずケーブルをクリップに差し込み、安全かつ適格なUSBアダプタを使用して電源に接続します。安全でない認定されていないUSBアダプタを使用しないでください。

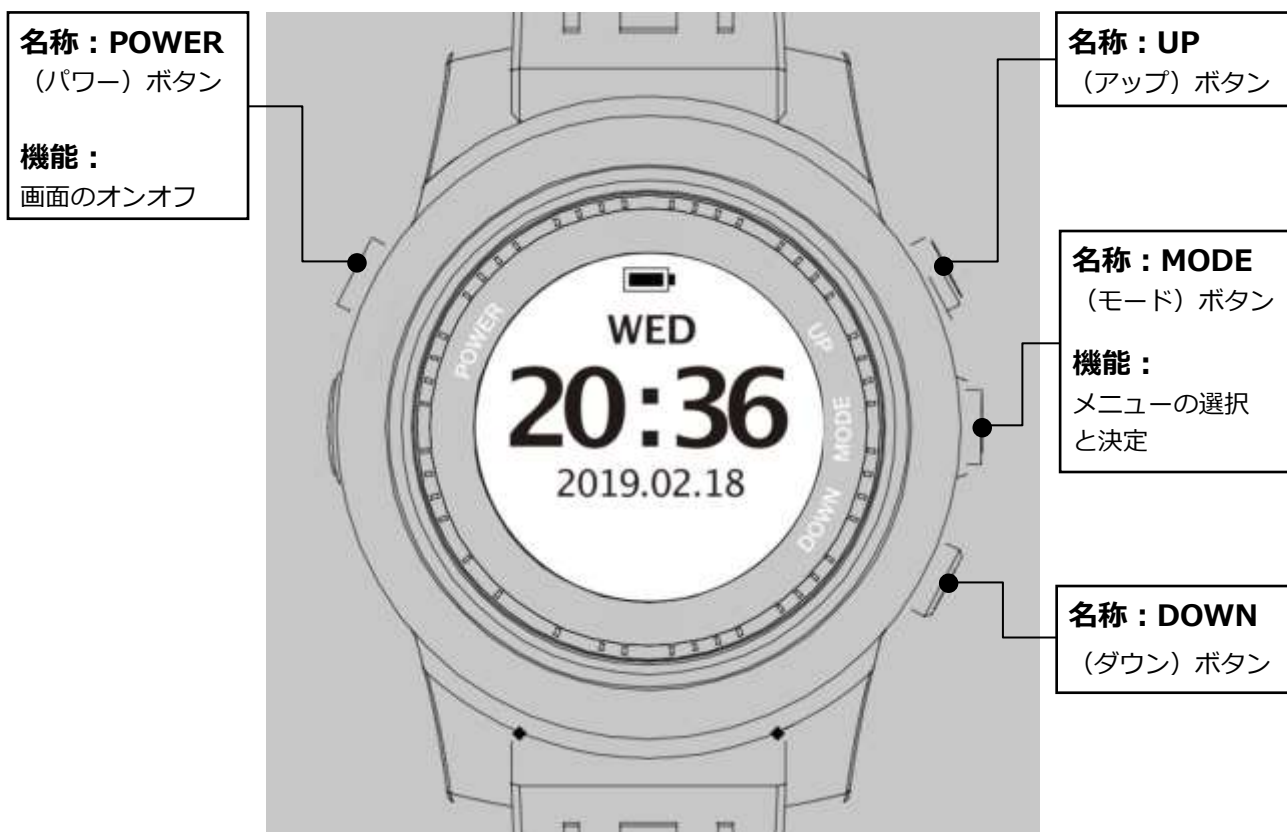
- クリップをTUSA TC1(IQ1301)の背面にある接点に合わせます。取り付けが完了すると、画面にバッテリーの充電インジケータが表示されます。

TUSA TC1 (IQ1301)ダイブコンピュータ取扱説明書

1. 表示と機能	5
1.1 ボタン機能	5
1.2 MENU (メニュー) モード	6
1.3 WATCH (時計) モードとダイブヒストリーとシステム情報	9
1.3.1 WATCH (時計) モード	9
1.3.2 ダイブヒストリーとシステム情報	11
1.3.3 WATCH (時計) モードの設定	12
1.4 SCUBA (スクーバ) モード	16
1.4.1 SCUBA (スクーバ) モード	16
1.4.2 SCUBA (スクーバ) モードの設定	21
1.5 FREE (フリーダイビング) モードの設定	27
1.5.1 FREE (フリーダイビング) モード	27
1.5.2 FREE (フリーダイビング) モードの設定	29
1.6 GAUGE (ゲージ) モード	32
1.7 PLAN (プラン) モード	34
1.8 TIMER (タイマー) モード	35
1.9 LOG (ログ) モード	36
1.10 SETTINGS (設定) モード	37
2. メンテナンス	41
3. 運搬、携行、保管上の注意	41
4. その他の注意	42
5. 製品仕様	42

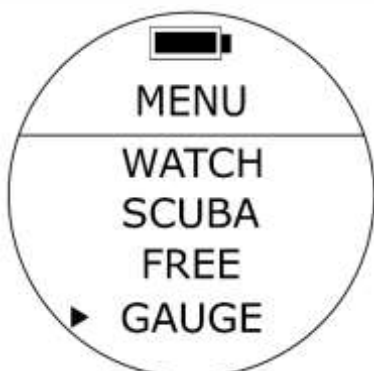
1. 表示と機能

1.1 ボタン機能



1.2 MENU (メニュー) モード	
 <p>A circular menu screen with a battery icon at the top. The text 'MENU' is at the top, followed by a horizontal line. Below the line, the options 'WATCH', 'SCUBA', 'FREE', and 'GAUGE' are listed. A right-pointing arrow is next to 'WATCH'.</p>	<p>WATCH (ウォッチ) モード</p> <ul style="list-style-type: none">●時計画面から MODE ボタンを押し、カーソルを UP/DOWN ボタンで WATCH に合わせ MODE ボタンを押し時計画面に戻る。●POWER ボタンを押しても、時計画面に戻る。
 <p>A circular menu screen with a battery icon at the top. The text 'MENU' is at the top, followed by a horizontal line. Below the line, the options 'WATCH', 'SCUBA', 'FREE', and 'GAUGE' are listed. A right-pointing arrow is next to 'SCUBA'.</p>	<p>SCUBA (スクーバ) モード</p> <ul style="list-style-type: none">●MENU 画面からカーソルを上下し、SCUBA に合わせ MODE ボタンを押し、SCUBA モード (プレビュー) に入る。 <p>使用方法は 1.4 参照</p> <ul style="list-style-type: none">●POWER ボタンで戻る。
 <p>A circular menu screen with a battery icon at the top. The text 'MENU' is at the top, followed by a horizontal line. Below the line, the options 'WATCH', 'SCUBA', 'FREE', and 'GAUGE' are listed. A right-pointing arrow is next to 'FREE'.</p>	<p>FREEDIVING (フリーダイビング) モード</p> <ul style="list-style-type: none">●MENU 画面からカーソルを上下し、FREE に合わせ MODE ボタンを押し、FREE モード (プレビュー) に入る。 <p>使用方法は 1.5 参照</p> <ul style="list-style-type: none">●POWER ボタンで戻る。

1.2 MENU (メニュー) モード

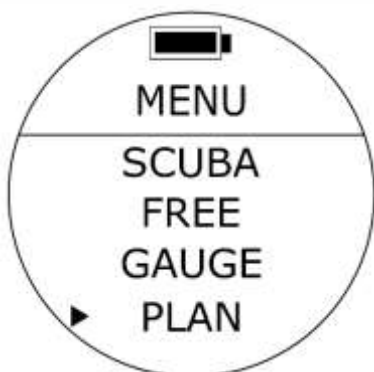


GAUGE (ゲージ) モード

●MENU 画面からカーソルを上下し、GAUGE に合わせ MODE ボタンを押し、GAUGE モードに入る。

使用方法は 1.6 参照

●POWER ボタンで戻る。

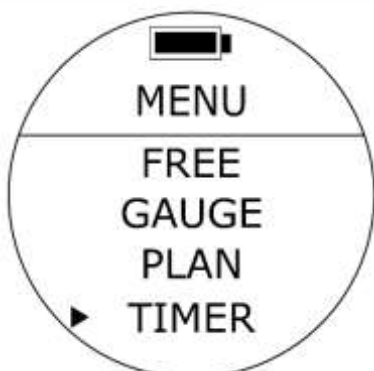


PLAN (プラン) モード

●MENU 画面からカーソルを上下し、PLAN に合わせ MODE ボタンを押し、PLAN モードに入る。

使用方法は 1.7 参照

●POWER ボタンで戻る。



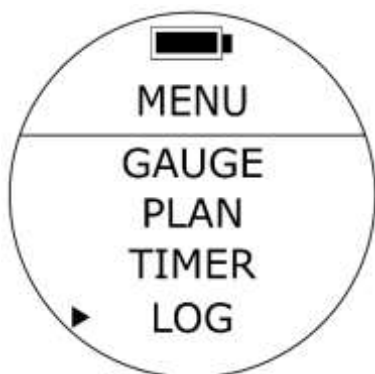
TIMER (タイマー) モード

●MENU 画面からカーソルを上下し、TIMER に合わせ MODE ボタンを押し、TIMER モードに入る。

使用方法は 1.5.1 , 1.8 参照

●POWER ボタンで戻る。

1.2 MENU (メニュー) モード

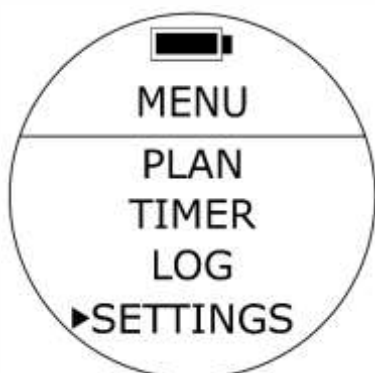


LOG (ダイブログ) モード

- MENU 画面からカーソルを上下し、LOG に合わせ MODE ボタンを押し、LOG モードに入る。

使用方法は 1.9 参照

- POWER ボタンで戻る。

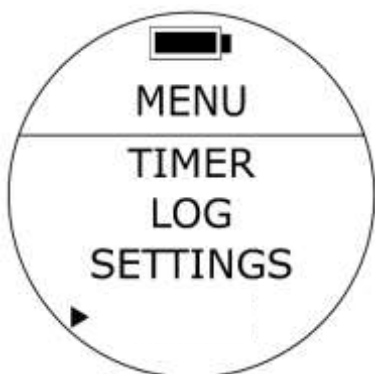


SETTINGS (設定) モード

- MENU 画面からカーソルを上下し、SETTINGS に合わせ MODE ボタンを押し、SETTINGS モードに入る。

使用方法は 1.10 参照

- POWER ボタンで戻る。



メンテナンスモード

このモードは製造工場にて点検・メンテナンスを行う際に使用するモードになります。ロックがかかっておりますためお客様が使用することはできません。

1.3 WATCH（時計）モードとダイブヒストリーとシステム情報

1.3.1 WATCH（時計）モード



起動時のデフォルトモード

MENU 画面から MODE ボタンを押し、WATCH に合わせる。また、POWER ボタンで戻ります。

上図：アナログ時計

下図：デジタル時計

1. デフォルト画面：

TC1 を起動すると、デフォルト画面に入り、バックライトが点灯。

2. スタンバイ状態：

デフォルト画面で 30 秒を超えると、バックライトが消灯。

- 何らかのボタンを押すことでバックライトが再点灯。

3. スリープモード：

スタンバイ状態で 5 分～30 分（設定可能）経過すると自動的に画面が消えスリープモードに入ります。

スリープモードは、1～2 秒かけゆっくりと 45 度傾けること、或いは何れかのボタンを押すことで解除できます。

- 45 度の傾けで、スリープモードを解除した場合、デフォルト画面が現れてバックライトが点灯しますが、30 秒超えると、再びスリープモードに戻ります。

- ボタン操作でスリープモードを解除した場合、デフォルト画面維持します。

4. 自動シャットダウン状態：

スリープモードから 24 時間経過すると、自動的にシャットダウン状態に入ります。

- POWER ボタンを長押しで再起動できる。

1.3.1 WATCH (時計) モード



NO FLY 警告

SCUBA モード或いは GAUGE モードで潜水を行った後 NO FLY 或いは NO DIVE また両方が点灯します。

1. **NO FLY 警告** : このアイコンが表示された場合、飛行機の搭乗や高地への移動をしないでください。残り時間の確認など詳しくは DIVE HISTORY を参照ください。



2. **NO DIVE 警告** : このアイコンが表示された場合、これ以上の潜水をおやめ下さい。残り時間の確認など詳しくは DIVE HISTORY を参照ください。



NO DIVE 警告が発生している間は SCUBA モード、FREE DIVING モードと PLAN モードは機能停止となります。

● **N2 インジケータ** : 現在の残留窒素レベル 10 段階を、●で表示します。

注意 :

N2 インジケータは、体内の残留窒素飽和量を示す参考情報です。

N2 インジケータの表示レベルに関係なく、必ず NDL や各種警告をお守りください。

1.3.2 ダイブヒストリーとシステム情報



LAST DIVE ラストダイブ

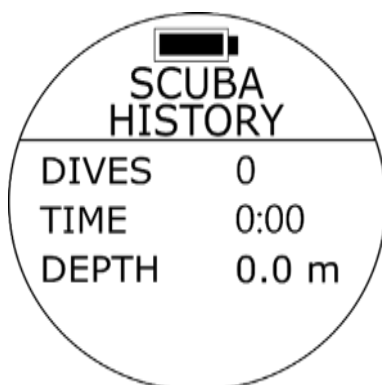
●WATCH モードから DOWN ボタンを 1 回押す。

最終潜水の日時

NO FLY の残り時間

NO DIVE の残り時間

SI : 休憩時間 (次回の潜水開始まで最大 99 時間まで表示)



SCUBA HISTORY スクーバ ヒストリー

●WATCH モードから DOWN ボタンを 2 回押す。

DIVES : これまでの潜水回数

TIME : 過去の積算潜水時間 (分)

DEPTH : SCUBA LOG の過去の最大水深

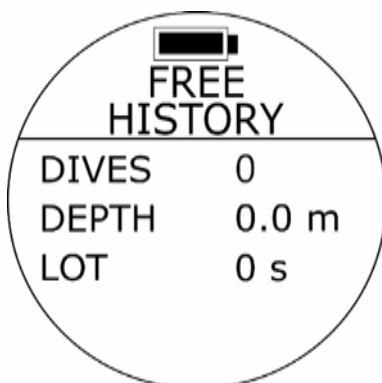
TC1 の概算メモリー容量は約 900 ダイブです。

(*毎回潜水時間が約 40~50 分で計算されます。実際の潜水時間により異なります。)

注意 :

メモリーがフル容量に達すると SCUBA モード、FREEDIVING モードと GAUGE モードを使用できません。DIVES : 800 (ダイブ) または TIME : 32,000 (分) を超えましたらご購入店へログクリアにお出してください。

ログクリアを行うとこれまでの全てのログデータとヒストリーデータが削除されます。



FREEDIVING HISTORY フリーダイビング ヒストリー

●WATCH モードから DOWN ボタンを 3 回押す。

DIVES : これまでの潜水回数

DEPTH : FREEDIVING LOG の過去の最大水深

LOT : FREEDIVING LOG の過去最長潜降時間

1.3.2 ダイブヒストリーとシステム情報



VERSION バージョン

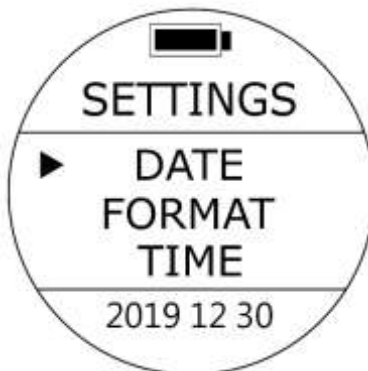
●WATCH モードから DOWN ボタンを 4 回押す。

HW : 本製品のハードウェアバージョンナンバー

SW : ソフトウェアのバージョンナンバー

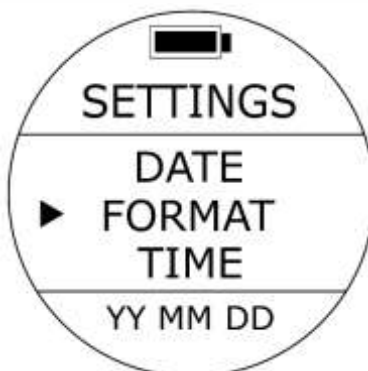
SN : 個体識別シリアルナンバー

1.3.3WATCH（時計）モードの設定



DATE（日付）設定

●WATCH モードから UP ボタンを一回押し、UP/DOWN でカーソルを DATE に合わせ MODE ボタンを押す。下部の日付の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。



FORMAT（フォーマット）設定

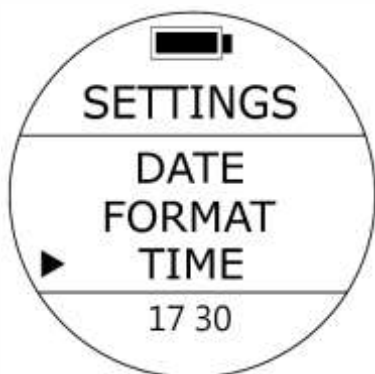
●WATCH モードから UP ボタンを一回押し、UP/DOWN でカーソルを FORMAT に合わせ MODE ボタンを押す。下部のフォーマットの点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : YYMMDD

設定可能フォーマット（3種） :

YYMMDD/DDMMYY/MMDDYY

1.3.3WATCH（時計）モードの設定



TIME（時間）設定

●WATCHモードからUPボタンを一回押し、UP/DOWNでカーソルをTIMEに合わせMODEボタンを押す。下部の時間の点滅をUP/DOWNボタンを使い設定する。MODEボタンで決定。

注意：

時刻を設定の際には先にUTC（協定世界時）を合わせてください。TIME設定を行った後UTCが異なるタイムゾーンに設定されると設定時間が変わってしまいます。

注意：TC1には夏/冬時間の自動修正機能はありません。



UTC（協定世界時）設定

●WATCHモードからUPボタンを一回押し、UP/DOWNでカーソルを希望のUTCに合わせMODEボタンを押す。下部のUTCタイムゾーンの点滅をUP/DOWNボタンを使い設定する。MODEボタンで決定。

デフォルト設定：UTC+8

設定可能範囲：UTC -12 ~ +12.

※日本でご使用の場合は、必ず使用前に+9に設定してください。

注意：

時間設定の際は、このUTCの設定を先に行ってください。TIME設定を行った後UTCが異なるタイムゾーンに設定されると設定時間が変わってしまいます。

注意：

TC1には夏/冬時間の自動修正機能はありません。



12 / 24 時間表示設定

●WATCHモードからUPボタンを一回押し、UP/DOWNでカーソルを12H/24Hに合わせMODEボタンを押す。下部の12H/24Hの点滅をUP/DOWNボタンを使い設定する。MODEボタンで決定。

デフォルト設定：24H

設定可能範囲：12H / 24H

1.3.3WATCH (時計) モードの設定



AUTO MODE 設定

●WATCHモードからUPボタンを一回押し、UP/DOWNでカーソルをAUTO MODEに合わせMODEボタンを押す。下部のモードの点滅をUP/DOWNボタンを使い設定する。MODEボタンで決定。

AUTOモードは圧力センサーが深度（デフォルト設定：1m）を感知した際、自動的にコンピュータが作動する機能です。

SCUBAプレビューモード、FREEDIVINGプレビューモード、GAUGEモードの画面で潜水をすると開いていた画面のモードが作動します。

デフォルト設定： SCUBA

設定可能範囲：

SCUBA Mode, FREEDIVING Mode, or GAUGE Mode



LOG START (深度によるログの開始) 設定

●WATCHモードからUPボタンを一回押し、UP/DOWNでカーソルをLOG STARTに合わせMODEボタンを押す。下部の深度の点滅をUP/DOWNボタンを使い設定する。MODEボタンで決定。

デフォルト設定： 1.0 m (3.3 ft.)

設定可能範囲： 1.0 m (3.3 ft.) , 1.5 m (4.9 ft.) , 2.0 m (6.6 ft.) , 2.5 m (8.2 ft.) , 3.0 m (9.8 ft.)

注意：

この設定は自動的にSCUBAモード、GAUGEモード、FREEDIVINGモードに連動します。

1.3.3WATCH (時計) モードの設定

LANGUAGE (言語) 設定

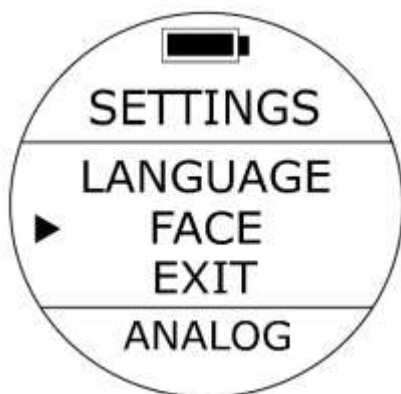


●WATCH モードから UP ボタンを一回押し、UP/DOWN でカーソルを LANGUAGE に合わせ MODE ボタンを押す。下部の言語の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : ENG (英語)

設定可能範囲 : ENG (英語) , CH (繁体中国語) ,
SPN (スペイン語)

FACE (WATCH の文字盤) 設定



●WATCH モードから UP ボタンを一回押し、UP/DOWN でカーソルを FACE に合わせ MODE ボタンを押す。下部の文字盤の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : ANALOG (アナログ)

設定可能範囲 :
ANALOG(アナログ)、DIGITAL (デジタル)


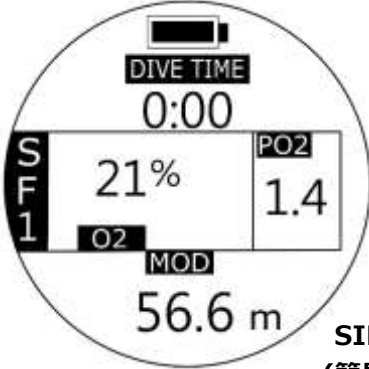


EXIT ボタン



●カーソルを EXIT に合わせ MODE ボタンを押し、WATCH 画面に戻る。

1.4 SCUBA (スクーバ) モード

1.4.1 SCUBA (スクーバ) モード

	<p>SCUBA (スクーバ) モード UI (ユーザーインターフェース) 設定</p> <p>●SCUBA プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを UI に合わせ MODE ボタンを押す。</p> <p>下部の UI の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。</p> <p>デフォルト設定 : SIMPLE (簡易表示) 設定可能範囲 : NORMAL (通常表示) / SIMPLE (簡易表示)</p>
 <p style="text-align: right;">SIMPLE (簡易)表示</p>  <p style="text-align: right;">NORMAL (通常)表示</p>	<p>プレビューモード SCUBA(スクーバ)モードの設定確認画面</p> <p>: 充電レベル OC: スクーバダイビング (通常表示のみ) 000.0 m: 現在深度 (通常表示のみ)</p> <p>SF セイフティーファクターは、より安全な潜水を行うために、無減圧潜水時間の設定を厳しくすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : SF1 (通常) 設定可能範囲 : SF1 (通常)、SF2 (より厳しい=安全度が高い)</p> <p>PO2 : 酸素分圧警告 デフォルト設定 : 1.4 設定可能範囲 : 1.2-1.6 の 5 段階</p> <p>MOD : 最大酸素限界水深</p> <p>O2%酸素濃度 デフォルト設定 : 21%</p> <p>DIVE TIME(簡易表示)/ TIME(通常表示) : 潜水時間</p>

1.4.1 SCUBA (スクーバ) モード

SCUBA(スクーバ)モード 水中

18.6m (DEPTH) : 現在水深
NDL : 無減圧潜水時間 (最大表示 99 分)

^ : 浮上速度 (通常表示のみ)
03 = 毎分 3 メートル
 毎分 10 メートルを超えると、オーディオと振動アラームで警告

v : 潜降速度 (メートル/分)
 一定水深維持の場合、矢印非表示

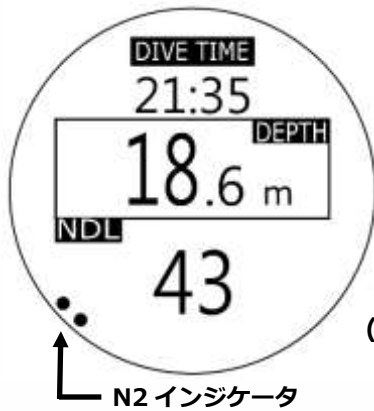
09:35 : 現在時間 (通常表示のみ)

DIVE TIME (簡易表示) / TIME (通常表示) :
 潜水時間

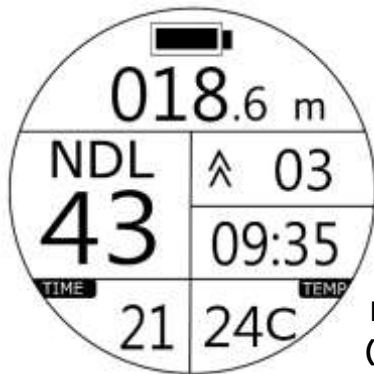
TEMP : 水温 (通常表示のみ)

● **N2 インジケータ :** 現在の残留窒素レベル 10 段階を、●で表示します。(簡易表示のみ)

注意 :
N2 インジケータは、体内の残留窒素飽和量を示す参考情報です。
N2 インジケータの表示レベルに関係なく、必ず NDL や各種警告をお守りください。



SIMPLE (簡易)表示



NORMAL (通常)表示

SCUBA (スクーバ) モード 安全停止 (NDL 未超過時)

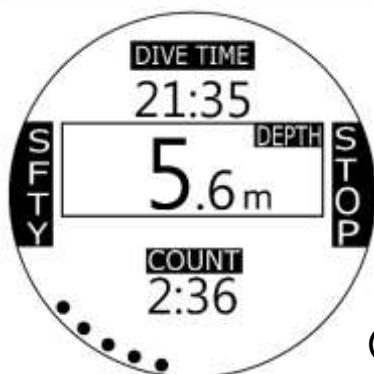
DEPTH : 現在水深
 005.6m (通常表示上段)
 5.6m (簡易表示中央)

SFTY・STOP (簡易表示) / STOP (通常表示) : 水深 5 メートルまで浮上後、自動的に 3 分間の安全停止指示が出ます。安全停止完了前に浮上した場合、オーディオと振動のアラームが作動します。また、その際に LOG STOP の設定によりダイブログが終了します。

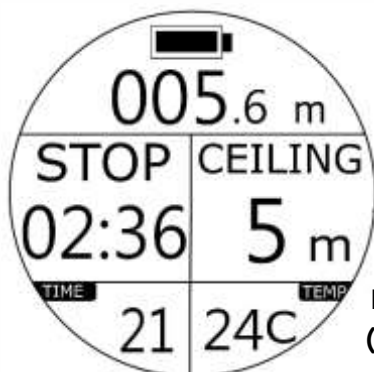
COUNT (簡易表示) / STOP (通常表示) :
 安全停止残り時間

DIVE TIME (簡易表示) / TIME (通常表示) :
 潜水時間

CEILING : 安全停止水深
TEMP : 水温 (通常表示のみ)



SIMPLE (簡易)表示



NORMAL (通常)表示

1.4.1 SCUBA (ス쿠バ) モード



SIMPLE
(簡易)表示



NORMAL
(通常)表示

SCUBA (ス쿠バ) モード 安全停止終了後 (NDL 未超過時)

DEPTH : 現在水深
4.6m (簡易表示中央)
004.6m (通常表示上段)

CLEAR : 安全停止終了のお知らせ。安全浮上速度で浮上可能。

^ : 浮上速度 (通常表示のみ)
03 = 毎分 3 メートル

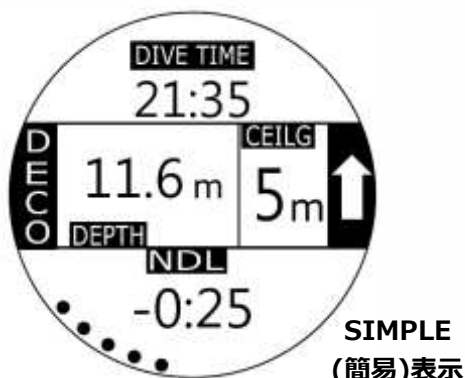
v : 潜降速度 (メートル/分)

一定水深維持の場合、矢印非表示

09:35 : 現在時間 (通常表示のみ)

DIVE TIME (簡易表示) / TIME (通常表示) :
潜水時間

TEMP : 水温 (通常表示のみ)



SIMPLE
(簡易)表示



NORMAL
(通常)表示

SCUBA(ス쿠バ)モード NDL 超過後 3 分以内

NDL : 無減圧潜水時間 (最大表示 99 分)

NDL を超過した場合、最初の 3 分間、分と秒の表示 (マイナス) に切り替わります。

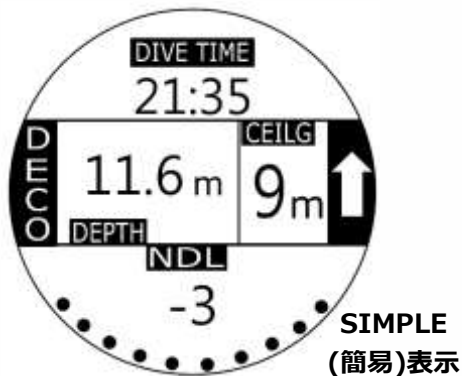
NDL 到達 4 分前にオーディオと振動のアラームが作動します。減圧症予防の観点から 4 分前のアラームが作動したら浮上速度違反に注意しながら、より浅い水深に浮上するようにしてください。

DECO (減圧) マーク : NDL を超過すると、現れます。(簡易表示のみ)

CEILING : 減圧停止水深

1.4.1 SCUBA (スクーバ) モード

SCUBA (スクーバ) モード NDL 超過後 3 分以降



DECO (減圧) マーク : NDL を 3 分以上超過すると、現れます。(通常表示)

NDL 超過後 3 分以降、分 (マイナス) の表示に切り替わります。

CEILING : 減圧停止水深



SCUBA (スクーバ) モード NDL 超過時で減圧停止が必要である場合



STOP : (減圧停止)

減圧停止水深に到達後、減圧時間のカウントダウンタイマーとして表示されます。

減圧終了前に浮上開始した場合、オーディオと振動のアラームが作動します。

CEILING : 減圧停止水深



1.4.1 SCUBA (スクーバ) モード



SCUBA (スクーバ) モード NDL 超過時で減圧停止終了後

CLEAR : 減圧停止終了のお知らせ。安全浮上速度で浮上可能。

PO2 : PO2 設定値を超えると、現在の PO2 値が表示されます。一方、超えない場合、現在時間が表示されます。

SCUBA (スクーバ) モード 終了

最新のダイブプロファイルが約 1 分間表示されます。

LOG モードに入ると、UP/DOWN ボタンで過去ダイブログが呼び出されます。MODE ボタンで決定後、UP ボタンを押すと、該当ダイブプロファイルが表示されます。



SCUBA (スクーバ) モード NO DIVING (これ以上の潜水をおやめください)

NO DIVING の残り時間内、これ以上の潜水をおやめ下さい。

NO DIVING の残り時間の確認など詳しくは DIVE HISTORY を参照ください。

注意 :

NO DIVING の間は、SCUBA モード、FREEDIVING モード、PLAN モードは使用できません。



1.4.2 SCUBA (スクーバ) モードの設定



SCUBA (スクーバ) モード ナイトロックス設定

●SCUBA プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを NITROX に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の酸素濃度の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : 21%

設定可能範囲 : 21%~56%

注意 :

スクーバダイビングの際は必ずタンクの酸素比率と TC1 の設定を確認して合わせてください。

ナイトロックス・ダイビングの知識がない方、また、潜水指導団体による専門トレーニングを受けていない方は、ナイトロックスを絶対に使用しないでください。



SCUBA (スクーバ) モード PO2 (酸素分圧警告) 設定

●SCUBA プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを PO2 に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の PO2 値の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : 1.4

設定可能範囲 : 1.2-1.6 の 5 段階

注意 :

PO2 設定を変更する際、変更後に伴うリスクを十分に理解したうえで行ってください。

1.4.2 SCUBA (スクーバ) モードの設定



SCUBA (スクーバ) モード SF (セーフティファクター) 設定

●SCUBA プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを SF に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の SF 値の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : SF1 (通常)

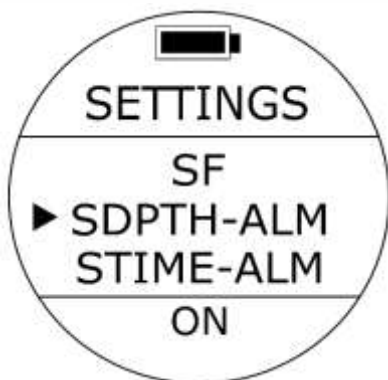
設定可能範囲 :

SF1 (通常)、SF2 (より厳しい)

注意 :

SF 設定を変更する際、減圧アルゴリズム計算がどんな影響と関連リスクを伴うか十分に理解したうえで行ってください。

SF2 の場合、NDL (無減圧潜水時間潜水可能時間) が SF1 より短くなります。



SCUBA (スクーバ) モード SDPTH-ALM (スクーバの深度アラーム) 設定-起動/解除

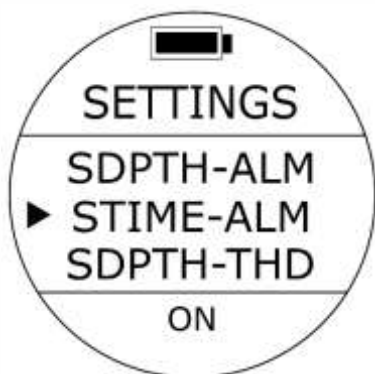
●SCUBA プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを SDPTH-ALM に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の ON/OFF の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : ON (起動)

設定可能範囲 : ON(起動)/OFF(解除)

1.4.2 SCUBA (スクーバ) モードの設定



SCUBA (スクーバ) モード STIME-ALM (スクーバの時間アラーム) 設定一起動/解除

●SCUBA プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを STIME-ALM に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の ON/OFF の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : ON (起動)

設定可能範囲 : ON (起動) / OFF (解除)



SCUBA (スクーバ) モード SDPTH-THD (スクーバの深度アラーム) 設定

●SCUBA プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを SDPTH-THD に合わせ MODE ボタンを押す。

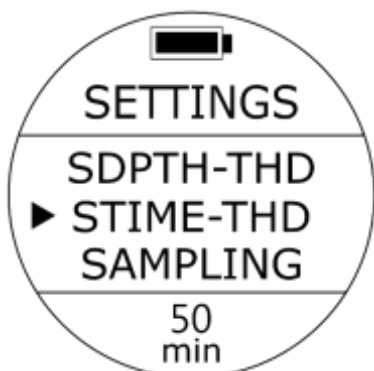
下部の深度の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : 40m

設定可能範囲 : 0m – 99m

設定された深度に到達すると、アラームが作動します。(ビーブ長音 2 回、振動と深度値が点滅)。

1.4.2 SCUBA (スクーバ) モードの設定



SCUBA (スクーバ) モード

STIME-THD (スクーバの時間アラーム) 設定

●SCUBA プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを STIME-THD に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の時間の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : 50 分

設定可能範囲 : 0 分 - 90 分

設定された時間に到達すると、アラームが作動します (ビーブ長音 3 回と振動)。

SCUBA (スクーバ) モード

SAMPLING (ダイブプロファイルサンプリングタイム) 設定

●SCUBA プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを SAMPLING に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の時間の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : 10 秒

設定可能範囲 : 10 秒/20 秒/30 秒/60 秒

注意 :

この設定は、GAUGE モードに自動的に連動します。

1.4.2 SCUBA (スクーバ) モードの設定



SCUBA (スクーバ) モード

LOG START (深度によるログの開始) 設定

●SCUBA プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを LOG START に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の深度の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : 1.0m

設定可能範囲 :

1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 3.0m

注意 :

この設定は、FREEDIVING モードと GAUGE モードに自動的に連動します。



SCUBA (スクーバ) モード

LOG STOP (ログストップ) 設定

深度 0.5m (固定) より浅瀬に到達し、一定時間が過ぎるとログの記録が終了します。その時間の設定を行います。

●SCUBA プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを LOG STOP に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の時間の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : 1 分

設定可能範囲 : 1 分、2 分、5 分、10 分

1.4.2 SCUBA (スクーバ) モードの設定



SCUBA (スクーバ) モード UI (ユーザーインターフェース) 設定

●SCUBA プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを UI に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の UI の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : NORMAL (通常表示)

設定可能範囲 : NORMAL (通常表示) / SIMPLE (簡易表示)

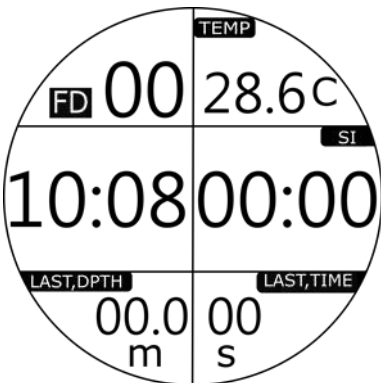
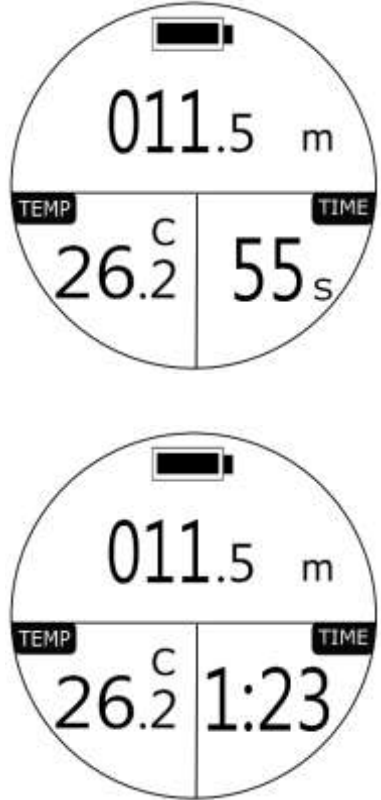


EXIT ボタン

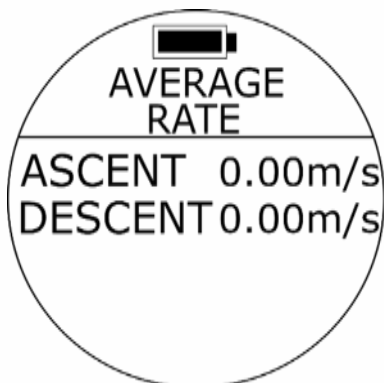
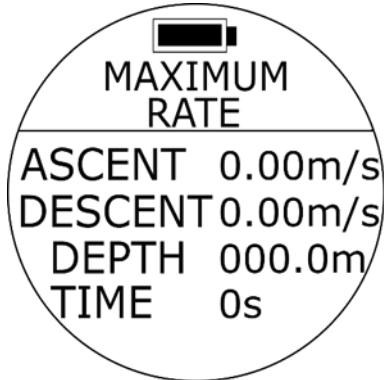
カーソルを EXIT に合わせ MODE ボタンを押し、WATCH 画面に戻る。

1.5 FREE（フリーダイビング）モードの設定

1.5.1 FREE（フリーダイビング）モード

	<p>FREEDIVING モード <u>プレビュー</u></p> <p>FD : FREEDIVING フリーダイビング サンプリングタイムのデフォルト設定 : 0.5 秒</p> <p>00 : 11 時間以内のフリーダイビング総回数 (注意 : フリーダイビング総回数は、 FREEDIVING した 11 時間後クリアされてゼロになります。)</p> <p>TEMP : 水温 10:08 : 現在時間 SI : 水面休息时间</p> <p>LAST, DPTH : 前回の最大水深 LAST, TIME : 前回の潜水時間 (1 分未満 : 秒単位表示されます。 1 分以上 : 分 : 秒と表示されます。)</p>
	<p>FREEDIVING モード <u>水中</u></p> <p>011.5m : 現在水深 TEMP : 水温 TIME : 潜水時間</p> <p>(1 分未満 : 秒単位表示されます。 1 分以上 : 分 : 秒と表示されます。)</p>

1.5.1 FREE (フリーダイビング) モード



FREEDIVING モード 最高記録

11 時間以内 FREEDIVING の最高記録が表示されます。

●FREEDIVING モードから DOWN ボタンを押すと、この画面に入ります。

ASCENT : 毎秒最大浮上速度
DESCENT : 毎秒最大潜降速度
DEPTH : 最大水深
TIME : 最長潜降時間

注意 :

ヒストリーの最高記録は、FREEDIVING した 11 時間後クリアされてゼロ表示となります。

FREEDIVING モード 平均記録

11 時間以内 FREEDIVING の平均記録

●FREEDIVING モードから DOWN ボタンを 2 回押すと、この画面に入ります。

ASCENT : 毎秒平均浮上速度
DESCENT : 毎秒平均潜降速度

注意 :

平均記録は、FREEDIVING した 11 時間後クリアされてゼロになります。

●DOWN ボタンで FREEDIVING プレビューモードに戻ります。

FREEDIVING モード これ以上の潜水をおやめください

NO DIVING の間は、これ以上の潜水をおやめ下さい。

NO DIVING の残り時間の確認など詳しくは DIVE HISTORY を参照ください。

注意 :

NO DIVING の残り時間内、FREEDIVING モード、SCUBA モード、PLAN モードは使用できません。

1.5.2 FREE（フリーダイビング）モードの設定



FREEDIVING モード FTIME-ALM **（フリーダイビングの時間アラーム）**

設定一起動/解除

●FREEDIVING プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを FTIME-ALM に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の ON/OFF の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定： ON（起動）

設定可能範囲： ON(起動)/OFF(解除)



FREEDIVING モード FDPTH-ALM **（フリーダイビングの深度アラーム） 設定**

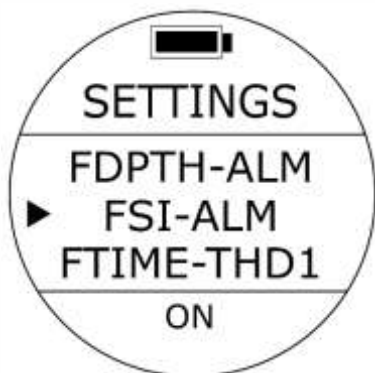
一起動/解除

●FREEDIVING プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを FDPTH-ALM に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の ON/OFF の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定： ON（起動）

設定可能範囲： ON（起動） / OFF（解除）



FREEDIVING モード FSI-ALM **（フリーダイビングの水面休息时间アラーム）**

設定一起動/解除

●FREEDIVING プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを FSI-ALM に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の ON/OFF の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定： ON（起動）

設定可能範囲： ON（起動） / OFF（解除）

1.5.2 FREE（フリーダイビング）モードの設定



FREEDIVING モード FTIME-THD (フリーダイビングの時間アラーム) 設定

●FREEDIVING プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを FTIME-THD1/2/3 に合わせ MODE ボタンを押す。

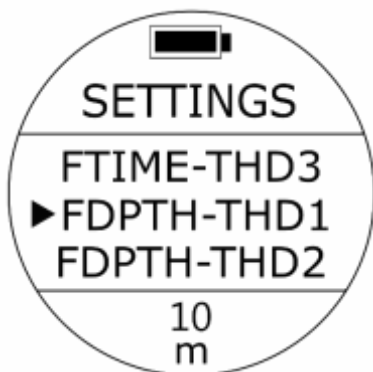
下部の時間の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

3つの異なる設定が可能です。(FTIME-THD1~FTIME-THD3)

デフォルト設定 : 30 秒 (THD1)、60 秒 (THD2)、90 秒 (THD3)

設定可能範囲 : 0 秒 -360 秒

FTIME-ALM を起動する場合、設定された時間に到達すると、アラームが作動します (ビーブ長音 3 回、振動と時間が点滅)。



FREEDIVING モード FDPTH-THD (フリーダイビングの深度アラーム) 設定

●FREEDIVING プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを FDPTH-THD1/2/3 に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の時間の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

3つの異なる設定が可能です。(FDPTH-THD1~FDPTH-THD3)

デフォルト設定 : 10m (THD1) / 20m (THD2) / 30m (THD3)

設定可能範囲 : 0m~99m

FDPTH-ALM を起動した場合、設定された深度に到達すると、アラームが作動します (ビーブ長音 2 回、振動と深度が点滅)。

1.5.2 FREE（フリーダイビング）モードの設定



FREEDIVING モード FSITHD **(フリーダイビングの水面休息时间アラーム)設定**

●FREEDIVING プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを FSITHD1/2/3 に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の時間の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

3つの異なる設定が可能です。(FSITHD1~FSITHD3)

デフォルト設定 : 1分 (THD1) / 3分 (THD2) / 5分 (THD3)

設定可能範囲 : 0分 - 60分

FSI-ALM を起動した場合、設定された時間に到達すると、アラームが作動します (ビーブ長音 2回、振動と時間が点滅)。

FREEDIVING モード LOG START **(深度によるログの開始) 設定**

●FREEDIVING プレビューモードから UP ボタンを一回押し、或いは SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを LOG START に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の深度の点滅を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : 1.0m

設定可能範囲 :

1.0m、1.5m、2.0m、2.5m、3.0m

注意 :

この設定は自動的に SCUBA モードと GAUGE モードに連動します。

1.5.2 FREE（フリーダイビング）モードの設定



EXIT ボタン

カーソルを EXIT に合わせ MODE ボタンを押し、WATCH 画面に戻る。

1.6 GAUGE（ゲージ）モード

1.6 GAUGE（ゲージ）モード



GAUGE（ゲージ）モード

GA : ゲージモード

■ : 充電レベル

000.0m : 現在水深

AVG : 平均水深

STPW : ストップウォッチ

TIME : 総潜水時間

TEMP : 水温

● GAUGE モードから DOWN ボタンを押すと、AVG と STPW がクリアされてゼロになります。

注意 :

GAUGE モードは NDL（無減圧潜水時間）の計算を行わず、単なるゲージとして水深や潜水時間等の情報だけを表示します。

このモードの使用は全てのリスクを把握し特別なトレーニングを積み、適性な器材とプランをもとに行なわれる必要があります。一般レジャーダイビングには絶対に使用しないでください。

1.6 GAUGE (ゲージ) モード

	<p>GAUGE (ゲージ) モード <u>終了</u></p> <p>最新のダイブプロファイルが約 1 分間表示されます。</p> <p>GAUGE モードを終了後、NO FLY と NO DIVE の残り時間は 24 時間からカウントダウンします。</p> <p>LOG モードから UP/DOWN ボタンで過去ダイブログが呼び出されます。MODE ボタンで決定後、UP ボタンを押すと、該当ダイブプロファイルが表示されます。</p>
	<p>GAUGE (ゲージ) モード <u>これ以上の潜水をおやめください</u></p> <p>NO DIVING の間は、これ以上の潜水をおやめ下さい。</p> <p>NO DIVING の残り時間の確認など詳しくは DIVE HISTORY を参照ください。</p> <p>注意： NO DIVING の残り時間内、SCUBA モード、FREEDIVING モード、PLAN モードは使用できません。</p>

1.7 PLAN (プラン) モード

1.7 PLAN (プラン) モード



PLAN (プラン) モード

■ : Battery Indication 充電レベル

左上 (O2%) : 酸素濃度

SF : セイフティーファクター

デフォルト設定 : SF1 (通常)

設定可能範囲 : SF1 (通常)、SF2 (より厳しい)

Depth : 水深

NDL : 無減圧潜水時間 (最大表示 99 分)

PLAN モードで事前に NDL を確認し、潜水計画を立てることができます。



UP/DOWN ボタンで DEPTH を調整できます。DEPTH に対応した NDL が表示されます。

PLAN モードで DEPTH は 40m (レジャーダイビング) まで設定可能です。



注意 :

1. SCUBA モードの設定で O2% や SF を変更すると、PLAN モードの NDL や PO2 警告に影響を与えます。必ずご使用する設定にした状態でご確認ください。
2. 前回のダイビングの残留窒素レベルをもとに計算を行いません。
3. PLAN モードを使用する際、必ず専門のトレーニングを受けて必要な機材を使ってください。そして、関連リスクを理解したうえで、潜水計画に厳格に従ってください。
4. 関連設定 (O2% 設定, SF 設定) は、SCUBA モードの設定を参照してください。

1.7 PLAN (プラン) モード

	<p>PLAN (プラン) モード <u>アラーム</u></p> <p>PO2 設定値に到達すると、アラームが作動し、NDLは0を表示します。(長音1回、振動とPO2値が点滅)</p> <p>注意： アラームが作動する際、潜水計画の修正を行ってください。</p>
	<p>PLAN (プラン) モード <u>これ以上の潜水をおやめください</u></p> <p>NO DIVINGの残り時間内、PLANモードを使用することはできません。 NO DIVINGの残り時間の確認など詳しくはDIVE HISTORYを参照ください。</p> <p>注意： NO DIVINGの間は、SCUBAモード、FREEDIVINGモード、PLANモードは使用できません。</p>

1.8 TIMER (タイマー) モード

<h3>1.8 TIMER (タイマー) モード</h3>	
	<p>TIMER (タイマー) モード</p> <p>：充電レベル</p> <p>●MENU画面からカーソルを上下し、TIMERに合わせMODEボタンを押し、このモードに入ります。</p> <p>UPボタン：タイマーを開始/一時停止 MODEボタン：タイマーをリセット</p>

1.9 LOG (ログ) モード

1.9 LOG (ログ) モード



Log (ログ) モード

OC : 開放式スクーバ
 FD : フリーダイビング
 GA : ゲージ
 DATE : 該当ダイビング日付と開始時間
 TEMP : 最低水温
 MAX : 最大水深
 TIME : 潜水時間

002 / 002 : 該当ログ番号/総ログ数
 (一番古いダイブログは 001 になります。)

概算メモリー容量 : *約 900 ダイブ
 (*毎回潜水時間が約 40~50 分で計算されます。実際の潜水時間により異なります。)

注意 :

メモリーがフル容量に達すると SCUBA モード、FREEDIVING モードと GAUGE モードを使用できません。800 ダイブを超えたらご購入店へログクリアにお出してください。ログクリアを行うとこれまでの全てのログデータとヒストリーデータが削除されます。

●LOG モードから、UP/DOWN ボタンで過去ダイブログが呼び出されます。MODE ボタンで決定後、UP ボタンを押すと、該当ダイブプロファイルが表示されます。





Log (ログ) モード アラーム (メモリフル)

メモリフル : TC1 のメモリー容量がフル容量に達したこと。

注意 :

この画面が表示される際、SCUBA モード、FREEDIVING モードと GAUGE モードを使用できません。ご購入店へログクリアにお出してください。ログクリアを行うとこれまでの全てのログデータとヒストリーデータが削除されます。

1.10 SETTINGS (設定) モード

1.10 SETTINGS (設定) モード	
WATCH(時計)モードの設定	12~15 ページ参照
SCUBA(スクーバ)モードの設定	16~26 ページ参照
FREEDIVING(フリーダイビング)モードの設定	29~32 ページ参照
 <p>A circular LCD display showing the SETTINGS menu. At the top is a battery level indicator. Below it, the word 'SETTINGS' is centered. A horizontal line separates 'SETTINGS' from the menu items: 'UNIT', 'SLEEP', 'BUZZER', and 'M/C'. A right-pointing arrow is positioned to the left of 'UNIT', indicating it is the selected item.</p>	<p>単位の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ●SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを UNIT に合わせ MODE ボタンを押す。 <p>下部の UNIT を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。</p> <p>デフォルト設定 : M/C メトリック 設定可能範囲 : M/C : メトリック (メートルと摂氏) Ft/F : インペリアル (フィートと華氏)</p> <p>注意 : 日本国内では、計量法に基き、必ずメートルと摂氏を選択して下さい。</p>
 <p>A circular LCD display showing the SETTINGS menu. At the top is a battery level indicator. Below it, the word 'SETTINGS' is centered. A horizontal line separates 'SETTINGS' from the menu items: 'UNIT', 'SLEEP', 'BUZZER', and '5 min'. A right-pointing arrow is positioned to the left of 'SLEEP', indicating it is the selected item.</p>	<p>スリープモードの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ●SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを SLEEP に合わせ MODE ボタンを押す。 <p>下部の時間を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。</p> <p>デフォルト設定 : 5 分 設定可能範囲 : 5 分、10 分、30 分</p> <p>注意 : WATCH モードのみに連動します。各ダイビングモードで使用する際、バックライトが常に点灯します。</p>

1.10 SETTINGS (設定) モード



ブザーの設定

●SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを BUZZER に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の ON/OFF を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

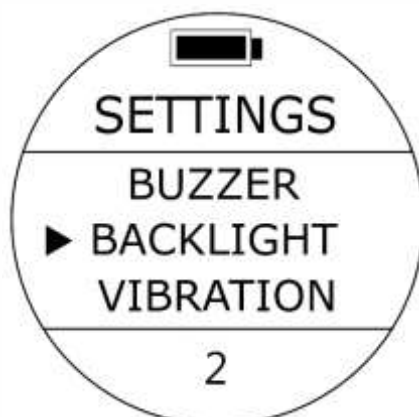
デフォルト設定 : ON (起動)

設定可能範囲 : ON (起動) / OFF (解除)

注意 :

WATCH モードのみに連動します。

各ダイビングモードのアラーム設定には影響を与えません。



バックライトの設定

●SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを BACKLIGHT に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の光度を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : 3

設定可能範囲 : 1、2、3、4、5 の 5 段階
(数字が多いほど明るくなります。)

注意 :

明るいほど電池の減りが早くなり、TC1 の使用時間が短くなります。



振動の設定

●SETTINGS モードから UP/DOWN でカーソルを VIBRATION に合わせ MODE ボタンを押す。

下部の ON/OFF を UP/DOWN ボタンを使い設定する。MODE ボタンで決定。

デフォルト設定 : ON (起動)

設定可能範囲 : ON (起動) / OFF (解除)

注意 :

WATCH モードのみに連動します。

各ダイビングモードのアラーム設定には影響を与えません。

1.10 SETTINGS (設定) モード

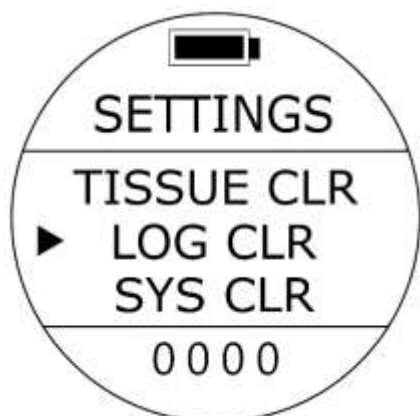


TISSUE CLEAR

このモードは TUSA 取扱店（レンタル用）にて使用する機能のためお客様はご使用できません。

注意：

このモードは残留窒素計算に影響を与えます。使用により減圧症に繋がる危険性がありますのでお客様のご使用はおやめください。



LOG CLEAR

このモードは製造工場または TUSA 取扱店にて使用する機能のためお客様はご使用できません。LOG CLEAR が必要な場合にはご購入店へご依頼ください。

注意：

このモードを使用すると全てのログデータとヒストリーデータが削除されます。データの復元は行えませんのでご注意ください。



SYS RST

このモードは製造工場または TUSA 取扱店にて使用する機能のためお客様はご使用できません。

注意：

このモードを使用すると全ての設定がリセットされます。

1.10 SETTINGS (設定) モード



ALL REST

このモードは製造工場または TUSA 取扱店にて使用する機能のためお客様はご使用できません。

注意：

このモードは残留窒素計算に影響を与えます。使用により減圧症に繋がる危険性がありますのでお客様のご使用はおやめください。また、全ての設定、ログデータ、ヒストリーデータが削除されます。

2.メンテナンス

■お手入れのしかた

ダイブコンピュータも衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。特に海水でのダイビング後は、真水にしばらく浸してから、よく洗い流してください。
- 樹脂ベルトは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂ベルトの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- ボタンは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、ボタンを押し続けてください。
- 錆びが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）をお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面は綺麗でも、すきまに付着した汚れや錆びが染み出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、本製品の性能が劣化することがあります。
- 樹脂ベルトや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気が多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。
- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、樹脂ベルトをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのベルトの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

3.運搬、携行、保管上の注意

TC1は精密機械ですので、運搬、携行、保管、梱包の際には充分に取扱いに注意してください。また、本体に付着した水分は拭き取ってください。

- 運搬、携行、梱包の際には、強い衝撃がかからないよう充分に気を付けてください。特に、液晶ディスプレイの部分は衝撃に弱いので注意を払う必要があります。強い衝撃がかかると、最悪の場合、液晶画面が割れたり、コンピュータ部分が破損したりする可能性があります。
- コンピュータの精度に影響を及ぼすことがあるので、強力な磁気のある器具、特に永久磁気を発生している器材、スピーカー、車のワイパー、磁気ハンドル付きライト、溶接機などには近づけないでください。
- 炎天下の車内やトランク内、直射日光下のボート上など、極端に高温になる場所での放置、保管は絶対に避けてください。不注意によって放置した場合、各センサーの計測精度が落ちる可能性及び、最悪の場合は、故障する可能性があります。（液晶画面が黒くなった場合などは、水中に入れて温度を下げれば元に戻ることがあります。）また、熱や紫外線の影響によって、変形や変色が起ったり、素材寿命が縮まったりする場合があります。
- オートライト作動状態のとき、本製品を腕につけて自転車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでお止めください。交通事故の原因となることがあります。
- 電車、船、飛行機などの乗り物の中では、正確な計測はできません。（磁力）

4.その他の注意

- TC1 を、ご自分で絶対に分解しないでください。修理、整備には、特別な道具と技術、検査設備が必要です。万一、ご自分で分解した場合には、水没、故障の原因となり、重大な事故を招く可能性があります。
- TC1 には精巧で敏感な圧力センサーが装備されていますので、空気による圧力テストなどは絶対に避けてください。圧力テストチャンバーに入れる場合には、必ず本体を水の中に浸してテストしてください。水に浸さないで行った場合は、圧力センサーが故障し、水深、潜水計画などの表示が全て不正確なものになります。
- TC1 の温度計は、正確な温度を表示するまでに 15 ～ 20 分かかる場合があります。
- 変形や変質、故障の原因となりますので、シンナーやアルコールなどの有機系溶剤を汚れ落としとしては絶対に使用しないでください。
- 静電気や磁気の影響、強い衝撃が加わったり、強いストロボ光を直接当てたりすると、データが壊れたり、誤作動したりすることがあります。空気が乾燥している場所（飛行機内や冬場の車内など）での取り扱いや、磁気、強い衝撃、強いストロボ光の直射はできるだけ避けるようご注意ください。また、重要なログデータはこまめに控えるようにしてください。
- TC1 は“POWER ボタン”と“DOWN ボタン”を同時に長押しすると一瞬画面がフリーズしたのちに電源を強制終了させる機能がございます。この強制終了は、ダイビングモード、フリーダイビングモードおよびゲージモードなどの潜水中でも作動いたします。もし潜水中に強制終了機能を作動させますと、その時の潜水上は全てリセットされログも残りませんのでご注意ください。なお、強制終了以前に記録されていたログが消えることはありません。
※この機能は工場でのメンテナンスで使用する機能でございます。IQ1301 は通常のご使用においてボタンの同時押しや長押しを必要とする操作はございませんので、お客様はご使用なさらさないようお願い申し上げます。

【お願い事項】

万が一ダイビング中に強制終了させてしまった場合、インストラクターやガイドに伝え、無限圧潜水や安全停止などインストラクターやガイドの指示に従ってください。

5.製品仕様

(1) 精度

- ・ 時間：±25 秒/月（20℃時）
- ・ 水深：±1% 精度保証深度範囲 0m～80m
- ・ 温度：0 ～ 40°で±2.0℃（温度変化 20 分以内）

(2) 計測範囲

- ・ 水深：0.0 ～ 99m
- ・ 温度：0 ～ 40℃ 計測間隔：1 秒

(3) 動作温度

- ・ 動作温度：-5 ～ 40℃
- ・ 推奨保管温度：0 ～ 40℃

(4) ナイトロックス設定

- ・ 酸素濃度比率：21 ～ 56% 設定間隔：1%

(5) 本体サイズ

- ・ ケース長系：50 mm
- ・ 厚さ：17.95 mm
- ・ 重さ：95g±5g

(6) SW（ソフトウェア）

- ・ SW version：TU1-5C



株式会社 タバタ

本社：マリンレジャー営業部

〒104-0033 東京都中央区新川 1-22-4 新川ニッテイアネックス 2F
03-6262-8892 FAX.03-6262-8893

◎お問い合わせ先

お客様相談室 0120-989-023

受付時間：月～金 9:30～12:00、13:00～17:00

〒130-0005 東京都墨田区東駒形 1-3-17

TUSA TC1(IQ1301)取説 第3版

※本文の無断転載をかたくお断りします。

© Copyright 2020 Tabata Co.,Ltd. All rights are reserved.